

国道6号小美玉道路（仮称）第1回ワークショップの議論のまとめ

1. 計画の進め方について

1) 計画検討の進め方

■ 検討及び事業の期間

- ・ 千代田石岡バイパスの計画が決まったのはかなり昔だった気がするが、それでもまだ道路はできていない。小美玉道路（仮称）について、今から検討ではいつ道路が使えるようになるのか。もっと早く進められないのか。
- ・ 国道4号に比べると国道6号の完成はかなり遅れている。東関東自動車道もまもなく成田まで行くし常磐自動車道もあるので、すでに時遅しではあるが、東京からのアクセス向上、渋滞の緩和など、地域産業の発展のためにも早く進めてほしい。
- ・ 小美玉市から茨城町までの道路がまだ都市計画決定されていないということだったが、以前から小美玉道路（仮称）の整備要望はしている。既にルートは検討し、計画は進んでいるものだと期待していた。この間、何もしていなかったのかと残念に思う。
- ・ 千代田石岡バイパスの進捗状況を見ていると、小美玉道路はいつできるのかと心配になる。早く事業を進めてほしい。
- ・ こういった場を設けて意見を聞くプロセス自体はよいことだと思うが、計画検討のスピードが遅い。もっと検討が進んでいると思っていた。こういった場ももっと早い時期に開催できなかつたのか。
- ・ 千代田石岡バイパスは遺跡があったりしたので遅れたと聞いたが、遺跡があるとやはり事業は遅れるものなのか。

■ 具体的な情報

- ・ 道路計画を平面だけで説明されて、できてみたら盛り土で段差があり、目の前に道路はあるがアクセスできず、土地の利用もできないという経験がある。道路計画は平面、断面、その他を用いて完成時の状態がわかる説明をしてほしい。
- ・ 現在の千代田石岡バイパスの都市計画決定の線形を見ると、小美玉の手前でカーブしてきているので、この先の小美玉区間でもルートの腹案があるように思える。茨城東高校前は4車線になるという話も以前聞いた。まだ白紙だという説明だったが、計画をすでに持っているようであれば、提示してもらって具体的に話し合いたい。
- ・ 道路整備にあたって、住んでいる地域ごとに生じる影響が異なる。途中までバイパスが通っているので、竹原地区近辺を通るのではないかなどいろいろ推測もするが、現道拡幅で4車線になる区間とバイパスになる区間がどこになるのかといったより具体的な情報を早めに出してほしい。住んでいる地域の影響が少なくしたい。

■ その他

- ・ 計画検討の進め方については説明された内容で理解できた。

2) ワークショップの進め方

■ 計画の検討の仕方

- ・ 市民にとっては具体的な提案がない中では考えづらい。国道6号拡幅なのか、あるいは新たにバイパスをつくるのか、ルート案などをみながらのほうが考えやすい。
- ・ 複数案を示してもらい、各々の特徴やコストなどの説明を受けた上で意見を言えるとうよい。
- ・ まずは行政がどのように考えているのかを聞きたい。その上で考えたい。早期完成を願っているので進めやすい方法を考えたい。
- ・ 何年も前に国交省に道路整備の陳情を行っている。その際、ルートも検討されていたと記憶している。今回の検討区間である小美玉道路(仮称)について、現時点で示されるルート案はないということだが、実際には検討を進めているのではないか。早期整備を望む者としては、検討しているルート案があるなら早く示してもらい具体的な検討を進めたい。

■ ワークショップの参加者

- ・ ワークショップメンバーが男性ばかりなので驚いた。オープンハウスでも意見は聞いているというが、ワークショップにも女性の参加は必要だと思う。国道6号は通勤ではなく生活道路として使う女性の意見は、男性とは違うのではないか。接続道路が限られたりすると影響があるだろう。
- ・ 自分は自治会長から参加を求められたのでワークショップに参加しているが、若い人は来てくださいと言ってもなかなか参加しないだろう。道路ができるまでには時間がかかるので、完成した時に使う世代の意見を聞ける様にする必要があると思う。

■ その他

- ・ 国道6号を拡幅するのか、新たにバイパスを通すのかということはまだ決まっていなくて、これからこのようなワークショップでそれぞれのルートの場合の期待や懸念を話し合うということは理解できた。

2. 小美玉道路整備の目的や課題について

■ 移動性

- ・ 国道6号は渋滞がひどいので、住民は避けて周辺道路を利用している。
- ・ 堅倉、堅倉中央、中野谷中央など渋滞がひどい。交差点の右折ができず渋滞する。市役所前、堅倉は信号が近く、さらに堅倉はスーパーもできてさらにひどくなっている。

- ・ 常磐自動車道ができる前は、夏の国道 6 号は海水浴に行く車で大渋滞であった。当時と比較すれば少しは改善されたが、まだまだ渋滞の課題はある。新しくバイパスを整備して交通量が分散されたら、渋滞が解消されて移動も負担なくできるようになるのではないかと期待している。
- ・ 国道 6 号沿いで材木店を営んでおり、日に 100 件程度配達に使っている。建設現場へ当日朝納品することなどもあるので、アクセスが向上し、高速道路にもすぐに行けるようになり、移動時間が短縮されればありがたい。
- ・ 通勤に国道 6 号を使っている人もおり、出勤時は早朝なので渋滞に巻き込まれないが、帰りには倍の時間がかかる。マイカー通勤の時間短縮が期待できる。
- ・ 早朝と夕方では、通勤時間が 30 分から 60 分へと倍になってしまっているが、渋滞が減ることで、通勤時間が短縮されることが期待される。
- ・ 中野谷の辺りも渋滞がある。渋滞が解消されることを期待している。
- ・ バイパスができれば通勤時間帯の通過交通がなくなるのではないかと期待している。
- ・ 茨城町の国道 6 号は交通量が多く、渋滞が発生していて、農作業用の車が横断しにくい。早く道路整備することで、改善してほしい。また、小美玉道路（仮称）は、横断も立体交差にするなどしてスムーズに横断できるようにしたらどうか。

■ 信頼性

- ・ 堅倉小学校は遠距離通学が多く、国道 6 号の路線バスを利用しているが、朝の渋滞を考慮して早めに出ている。
- ・ バス会社としては、バスの運行がスムーズに行えるためにも渋滞解消を望んでいる。

■ アクセシビリティ

- ・ 事故などによるひどい外傷、脳卒中、心筋梗塞などが起きた際の医療対応に不安がある。ひどい外傷は 1 時間以内に手術すれば助かるが、それ以上にかかるとうつしい。現在は土浦から事故などで救急車が現場に到着するのに 30 分以上かかるので、病院に到着するまでには 1 時間以上かかってしまう。また、脳卒中の処置はこの 10 年で大きく変わり、血管内から血の塊を吸う方法をとるが、これが 1 分遅れるとリハビリが 1 ヶ月延びると言われており、素早い処置が求められている。ドクターヘリはあるものの夜間は飛ぶことができないため、やはり道路による素早い搬送が必要になる。これらのことから、救命率を上げるためにも、また、後遺症を減らすためにも、道路が 4 車線となりスムーズな運行が必要だと思う。
- ・ 美野里消防署が国道 6 号近くに位置しているが、国道 6 号に出てしまうと渋滞により現場まで時間がかかってしまう状況である。消防車、救急車等の緊急車両の移動のことを考えると、早く渋滞を解消してほしい。
- ・ 2 車線道路だと緊急車両が通りにくい。4 車線になれば、救急車や災害時の緊急車両がスムーズに走行できるのではないと思う。

- ・ 小美玉には大きな病院が近くにない。石岡は 2 次病院なので、3 次病院に搬送となると水戸か土浦まで行くことになる。ドクターヘリを使えない場合には救急車になるので、どのくらい時間がかかるかが人命に関わる。
- ・ 国道 6 号の渋滞が解消されれば、災害時の地域防災拠点である宮田防災公園へのアクセスが向上する。安全面で期待している。
- ・ 茨城空港までのアクセス道路として、国道 355 と国道 6 号の両道路がいつも混雑していて、空港利用者が不便な思いをしているようだ。小美玉道路を空港寄りの新たなバイパスとして通すことで、空港までのアクセス性が高まることに期待したい。
- ・ 空港利用者にとっては、現状拡幅であってもバイパスであっても、迷わず空港にたどり着けて、渋滞による疲労やストレスがない道路になるのが重要なことである。

■ 安全性

- ・ これまで市役所裏の通学路にも大型車が入ってきてとても危険だったが、空港アクセス道路ができたことで大型車が減った。バイパスを通すことで周辺道路の大型車通行が減り、子どもたちや歩行者の安全性が高まることを期待したい。
- ・ 地元の人は遠出をする時などは混んだ国道 6 号は使わずに裏道を使っている。最近ではナビがあるので地元以外の人でも裏道に入ってくるので、農家の人が軽トラを道に停めて作業をしているとクラクションを鳴らされたりして困ることがある。裏道は狭く危険でもあるので迂回の手がかりがないようにできると良い。
- ・ 現在の国道 6 号はいつも渋滞しているので、裏道を使う人が多い。通勤時間が近隣の学校の通学時間と重なり、交通事故が起こらないか心配していたので、国道の渋滞が減り、裏道利用が減り、安全性が高まることを期待される。
- ・ 国道 6 号を拡幅することでかえって交通量が増え、その交通量増加に伴い、交通事故が増えてしまうことが心配である。
- ・ 道路が整備されるとスピードが出やすくなり、逆に大きな事故になるおそれがある。他の区間でも、路上駐車に追突するなどの大きな衝突事故が起きている。
- ・ 周辺には歩道のない通学路もあり、バイパスを通すことで通学路に大型車が減ることを期待する。
- ・ 国道 6 号は生活道路でもあり通学路の役割もある。中学生の自転車通学路であり、遠距離通学の小学生は路線バスを利用しているし、国道 6 号を横断しての通学もある。安全性の確保が重要である。
- ・ 国道 6 号を拡幅する場合、子どもたちが通学路としてよく渡る交差点等は、オーバークロスなどの立体交差にするなどして対策を練ってほしい。歩道も十分に確保してほしい。
- ・ 竹原小学校や美野里中学校の生徒は、小学生は徒歩で、中学生は自転車で通学路として国道 6 号を利用している。国道 6 号の交通量が多いので安全性に懸念がある。現状は歩道が広い箇所が多いのでまだ良いが、4 車線になった場合、歩道が狭くなったり、

無くなったりすると通学に支障が出る。

- ・ 国道 6 号を渡って小学校へ通学している児童がいる。拡幅すれば当然これまで以上に交通事故の心配があるので、何らかの対策が必要である。
- ・ 幼稚園や保育園の傍を通るのは心配なので配慮してほしい。

■ ネットワーク

- ・ バイパスを通すことで周辺道路の大型車通行が減り、渋滞緩和につながるのではないか。
- ・ 国道 6 号をただ拡幅するだけでは、交差点や国道 6 号に接続する道路、また、その周辺道路がかえって渋滞するのではないか。
- ・ 小美玉道路（仮称）以外にも土浦（千代田石岡バイパス以南）など計画が進んでいない区間があり、これらがボトルネックになり渋滞していると思う。ここだけ先行しても結局機能しないのではないか。渋滞解消などの問題を解消するには、他区間も同時並行で計画を進める必要があるのではないか。
- ・ 小美玉道路ができて石岡がボトルネックになってしまうのは困るので、千代田石岡バイパスが早く供用できると良い。

■ 物流

- ・ 運送業者の立場からすると、新たにバイパスを通すことで現在の国道 6 号と名称の区別がつきにくくなることを懸念している。会社は走行ルートを事前に決め、運転手にそのルートを指示しているが、旧国道 6 号なのか、新国道 6 号なのか混乱を招き、走行すべきルートがわからなくなることが予想される。ナビも間違えることがあるので、走行ルートの間違えが起こることが心配である。道路整備をして渋滞を解消してくれるのは良いことだが、運送業者としてはわかりやすい道を迷わずに走ることができるのが何より安心なので、できれば現状拡幅として、国道 6 号という名称を一本化することで案内をしやすくしてほしい。
- ・ 流通が良くなって便利になりそう。運送業務にとってプラスになりそうだ。
- ・ 仕事で国道 6 号を使っている。朝、昼、夕と渋滞しているのでやむを得ず裏道を使うが、裏道は狭く曲がりくねっている。ドライバーはできるだけ広い道で安全に通行したいので、道路が整備され裏道を通らずスムーズに通行できるのはありがたい。

■ 交差

- ・ 一時停止してから発進すると排ガスも増えるだろう。停止しなくて済むということは、排ガスの軽減にもつながると思う。接続道路や交差点は少ない方が事故防止になり、環境面にも良いと思うので、できるだけ減らしてほしい。
- ・ 竹原小学校傍の交差点は十字路が斜めになっていたり、堅倉中央交差点は連なっている 2 つの信号のタイミングが異なり、手前は赤でも向こう側は青ということがあるた

め、そのまま車が通ってしまったりするので危険だ。

■ 地域活性化

- ・ 東京へのアクセス向上による地域産業の発展や経済効果を期待している。
- ・ 観光の面から言うと、石岡小美玉スマートインターチェンジと茨城空港アクセス道路ができて県内外からもお客さんが来るようになった。小美玉道路ができれば更に便利になると思うので、早く完成してほしい。
- ・ 観光の視点から言えば、通過するだけではなく小美玉に立ち寄ってほしい。通過するだけでは地元には騒音が出るだけになってしまう。
- ・ バイパスができることで、渋滞が減り、現道沿いの店舗がアクセスしやすくなり売上が上がる可能性もありそうだ。
- ・ バイパスができることで、トラックステーションなどこれまでなかった新しい商売が生まれる可能性があるそうだ。
- ・ バイパスができることで、国道50号のような沿道サービスの店舗が増えそうだ。ただ道路の形状やバイパスの位置による。千代田石岡区間のように田んぼの中のバイパスだったりすると立地条件が合わず、沿道店舗の増加も見込めないだろう。
- ・ バイパスができた場合に、そちらに店舗などができ国道6号沿いの店舗に少なからず影響は出るのではないか。
- ・ 新たにバイパスを通すことで、国道6号沿道の店舗に人が流れてこなくなり、沿道沿いやその周辺地域が衰退化してしまうのではないかと心配である。
- ・ どの道路でも共通して、バイパスができると旧道は忘れられてしまう。現道沿いの事業者の売上が悪化してしまうおそれがある。
- ・ 現道拡幅でなければコミュニティの分断は避けられるが、新たにバイパスを通したら国道6号沿いの店舗やその周辺地域が衰退化してしまうことが心配である。

■ 土地利用・まちづくり

- ・ 今回の検討範囲である国道6号沿いには飲食店が10軒ほどある。4車線になって中央分離帯ができてしまうと右折して店に入ることができなくなるので、商売としては厳しい。
- ・ 国道6号を整備するのであれば、地域コミュニティや土地利用のことを考えると、立体交差でオーバーパスなどにして、地域を分断しないようにしてほしい。国道6号沿いの店舗等の営業上の影響も最小限に済むのではないか。
- ・ 国道6号を何も整備せず、このまま渋滞が続けばかえってお店に入りやすく、営業上の悪影響が出てくるのではないか。それならば、拡幅する際にお店に入りやすい設計にすることで、沿道が衰退するという懸念を解消した方が良いのではないか。
- ・ 現状拡幅であってもバイパスであっても、沿道沿いの店舗や企業等にとって良い影響があるよう、道路整備と併せて発展できるまちづくりに取り組んでほしい。

- ・ 国道 6 号を拡幅整備すれば地域コミュニティが分断され、新たなバイパスを通せば国道 6 号沿いの店舗に影響が出ることが予想できるので、道路整備のことだけに取り組むのではなく、周辺のまちづくりとセットで取組んでいくべきことだと思う。地域のことを第一に考えてほしい。
- ・ 国道 6 号をまたいで地域コミュニティが形成されている地域もあり、拡幅されることで日常生活だけでなく、お祭りなどのあり方も変化してしまうことは地域にとってよくないと思う。地域の歴史的背景も踏まえて、整備のあり方を検討してほしい。
- ・ 道の駅などの立ち寄ることのできる施設ができれば、そこを拠点に観光 PR もできるだろう。地元を良くするためには接続は多ければ多いほど良いが、そうになるとバイパスの意味がなくなってしまうと思う。パーキングなどを設置するには地元の意見を反映させてほしい。
- ・ せっかく道路を作るのなら町のためになるものも一緒に整備できると良い。市内には公園が少ないので、給水設備などの災害時に役立つ設備を整え、普段は休憩所になるようなポケットパークのようなものができるとう良い。
- ・ 千代田石岡 IC～日立南太田 IC の間は国道 6 号から高速入口が離れているため、高速道路へ行かずに国道 6 号を使う人が多い。一方、トラックステーションの数が少なく、利用が集中してしまっている。トラックドライバーの連続運転時間のルールもあり、バイパスの整備にあわせてドライバーが休憩するトラックステーションが増えることが期待される。
- ・ 国道 6 号は道の駅がない珍しい路線だ。小美玉道路の整備に合わせて、道の駅を作り、運送業の休憩所のほか、地域の農産物を販売できるような拠点ができると、地域外の人も立ち寄ってくれ、地域づくりにもつながる。
- ・ 農地の中を道路が通る場合は、農地へのアクセス確保や使えなくなる残地の対応を考えてほしい。
- ・ 道路は早くつくってほしいので、地権者の抱える問題（使えない残地、土地利用できないような道路づけ、コミュニティ維持など）を解決して、同意しやすい環境をつくってほしい。
- ・ 地権者の抱える問題に対応して、早くつくってほしい。
- ・ 国道 6 号拡幅にせよバイパスにせよ、地権者にとっては道路によって利用価値のない残地ができてしまうことが問題である。
- ・ 国道 6 号を拡幅すると、住宅や店舗の立ち退きが結構あると思う。用地交渉に時間がかかり現実的ではない。
- ・ 国道 6 号拡幅は、現沿道に住宅、店舗、事業所など建物があり、そこには暮らしがあるので、単に移動、移転とはならず難しいと思う。
- ・ 沿道拡幅は多くの地権者に影響があるので、交渉がまとまらず、用地買収などにも莫大なお金がかかってしまうのではないかと感じる。特に竹原地区は多くの住宅があるので調整が大変だ。

- ・ 渋滞で使いづらい国道6号だが、4車線になって中央分離帯ができると、ますます使いづらくなる。道路の両側に住んでいる者同士は道路を横切っただけの行き来がしづらくなるし、行きたい店があっても右折できないなど、生活するものにとっては不便になるだけだ。
- ・ 竹原地区は、昭和30年代の国道6号拡幅の時に既に一度土地を提供している。小美玉道路（仮称）の整備のために、再度土地を提供するというのは心情的にどうだろうかと思ってしまう。歴史ある地域であることから、お祭りも盛んで無形文化財に指定されている。地域の歴史的背景を踏まえて計画を進めてほしい。
- ・ バイパスを考えるとしたら、地権者数が少なくなるようなルートを考える必要があるのではないか。
- ・ 茨城町の国道6号沿いは、既にセットバックしている箇所も多く、都市計画決定された線形通りに拡幅できるのではないかと思う。
- ・ 国道6号を拡幅したら地域が分断され、これまでの地域コミュニティがなくなってしまう。
- ・ 国道6号を拡幅することで地域コミュニティが分断され、地域が衰退してしまうのではないかと心配だ。
- ・ 現道を4車線に拡幅すると、今あるコミュニティが分断されてしまうおそれがある。道路が横断しづらくなり、回覧板を回したり、住民の行き来もできなくなってしまう。
- ・ バイパスができ、現道は2車線のままであれば、自分が住んでいるコミュニティが道路によって分断される恐れはないが、バイパスがどこにできるかによっては、別のコミュニティが分断される恐れがある。
- ・ 遺跡があるということは、そこに暮らしが続いていることを意味している。遺跡を分断して道路を通すことで、今まで続いてきた集落のまとまりやコミュニティを分断してしまう恐れがある。石岡地区ではすでにコミュニティの分断が起きていて、日々の暮らしに付随するお墓や親戚の家とのつながりが道路によって分断されてしまった。
- ・ これまでの経験から、地域コミュニティの中に4車線道路ができると、完全に分断されて別のまちのようになってしまうので、そうならないような対策を考えてほしい。
- ・ 4車線道路をつくる場合は、地域コミュニティ維持や土地利用のために側道、横断路を必ずつくってほしい。
- ・ 国道6号をまたいで地域コミュニティが形成されている地域もあり、拡幅されることで日常生活だけでなく、お祭りなどのあり方も変化してしまうことは地域にとってよくないと思う。地域の歴史的背景も踏まえて、整備のあり方を検討してほしい。
- ・ 竹原城跡周辺には住宅もあるために、整備する際には配慮する必要があると思う。
- ・ バイパスを通すと、田畑に道路を通すので分断されてしまう。農業がしやすいように農業用の車が渡れるような道も整備してほしいし、農家の方々の生活に支障がないようにしてほしい。
- ・ 一部の不動産屋が道路整備のルートを予想して、先に土地を購入しているという話を

聞いた。行政で取り締まることはできないのか。一部の人や企業が得をしたり、その人達の思惑でまちが変化してしまうようなことはしないでほしい。

■ 文化財

- ・ この辺りはたくさん文化財的なものが出るので、バイパスを通した場合、竹原城跡周辺でも遺跡等の文化財が発掘されることがあるだろう。
- ・ 都市計画決定線を確認すると、どう整備しても竹原城跡にあたってしまう。竹原城は小美玉市の指定文化財で貴重な文化財なので、城跡を道路整備によって潰してしまうのは残念である。
- ・ 埋蔵物があるエリアはできるだけ道路にかからないようにしてほしい。埋蔵物調査に時間がかかって工期が遅れる。それだけでなく、掘り起こしてしまうことで、そこで歴史を自分たちの世代で途絶えさせてよいのかと思う。
- ・ 小美玉道路（仮称）が、竹原城跡にどうしても引っかかってしまうのであれば、二の丸、三の丸の北側は仕方がないかもしれないが、せめて本丸は残せないだろうか。文化財保存という観点での被害を最小限にする方法を考えてほしい。
- ・ 竹原城跡のような歴史的な文化財も重要ではあるが、文化財を重視するあまり、現在住んでいる人たちが犠牲になるのも良くないと思っている。残すべき文化財は有形のものだけではなく、そこに暮らす人たちの地域の歴史やコミュニティといった無形の文化もある。それぞれの視点から道路がどうあるのが良いかを考え、進めていかなくてはならない。
- ・ 文化財をその場所に残す、保存するということがどうしてもできない場合は、別の場所や施設に移し、保存するということを検討してほしい。

■ 環境

- ・ 国道 6 号は、日頃から特に竹原交差点から堅倉、小岩戸、西郷地交差点の間が渋滞していることから、沿道住民は騒音や振動に悩まされている。昼間だけでなく、夜間は大型トラックが通過すると振動で目を覚ましてしまうことがある。バイパスを通すことで交通量を分散し、沿道住民のストレスを軽減してほしい。
- ・ バイパスを通すことで交通量を分散し、これまで騒音や振動に悩まされていた国道 6 号沿道住民のストレスを軽減することに期待している。
- ・ 渋滞が減ることで騒音や交通事故が減り、安心して住むことができる。現在でも場所によっては夜も騒音で眠れないことがある。
- ・ 沿道に住んでいると日常的に振動を感じる。空いている時間帯に移動しようという車もいるので昼夜を問わず交通量が多く、振動が日常的にある。そうした住環境が改善されると良い。
- ・ 現況の国道 6 号は大曲の辺りなど全般的に路面に傷みがあるので、隙間に水が入り込んだり、周辺家屋に音や振動が伝わる。道路ができた後の道路の管理をしっかりして

ほしい。

- ・ 整備する際に自然はできるだけ壊さないでほしい。竹原城址跡周辺は森林があり、自然が豊かな地域である。バイパスを通すことでそういった自然がなくならないか心配である。
- ・ 道路整備による森林開発や伐採で、将来的に水害につながったりしないか心配である。
- ・ 小川地域、玉里地域は冠水が心配だが、美野里地域は冠水や浸水することはほぼないので、道路整備をする際にそういう視点はあまり気にしなくて良いと思う。
- ・ 下鶴田は農業に特化した地区なので、道路によって農業の環境が変わるのが心配だ。
- ・ 混雑が緩和されるのは良いことだと思っているが、バイパスができることで水田に影響が出ることを心配している。道路からの排水が水路に流れ込むのではないか。水路の狭い部分が特に心配だ。
- ・ 最近は何れも豪雨も多くなってきており、茨城空港アクセス道路ができて水路の水が増えたという話も聞いているので、小美玉道路ができてさらに悪くなるとしたら心配だ。
- ・ 大正地池の南西に水田が連なっている辺りなどに並行して道路ができた場合、道路排水が流れ込みやすいと思うので避けてほしい。
- ・ 余剰地が多いので、道路が整備されて東京からのアクセスが良くなると残土を持ち込まれないだろうか。環境に悪影響なことが起きないか心配である。

■ その他

- ・ (現道拡幅すると) バス停の位置が変更されることになると思うが、利用者に配慮して変更場所を検討してほしい。